

資料 1

小川町都市計画マスタープラン中間見直しについて

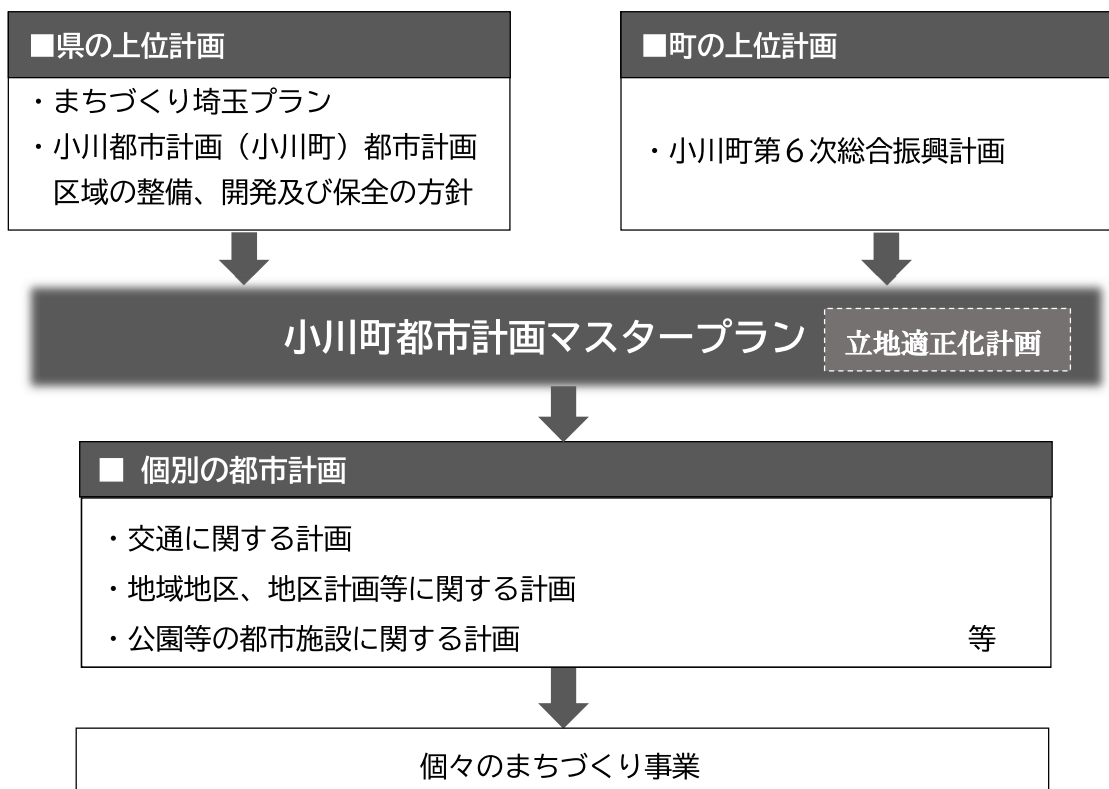
1 小川町都市計画マスタープラン中間見直しについて

1 小川町都市計画マスタープラン中間見直しの趣旨

「小川町都市計画マスタープラン」は平成28年3月に策定された計画ですが、策定から10年が経過し、人口減少・少子高齢化の進行、気候変動の影響による激甚化・頻発化する自然災害の発生、新型コロナウイルスの流行を契機とした新しいライフスタイルの確立など、この間に社会情勢は大きく変化しています。小川町においても、都市計画道路環状1号線の一部開通、道の駅おがわまちの再整備、公共施設配置の見直しが検討されるなど、町の都市構造が変化してきています。また、小川町第6次総合振興計画や小川町立地適正化計画など、まちづくりに関連する計画の策定や改定も進められています。

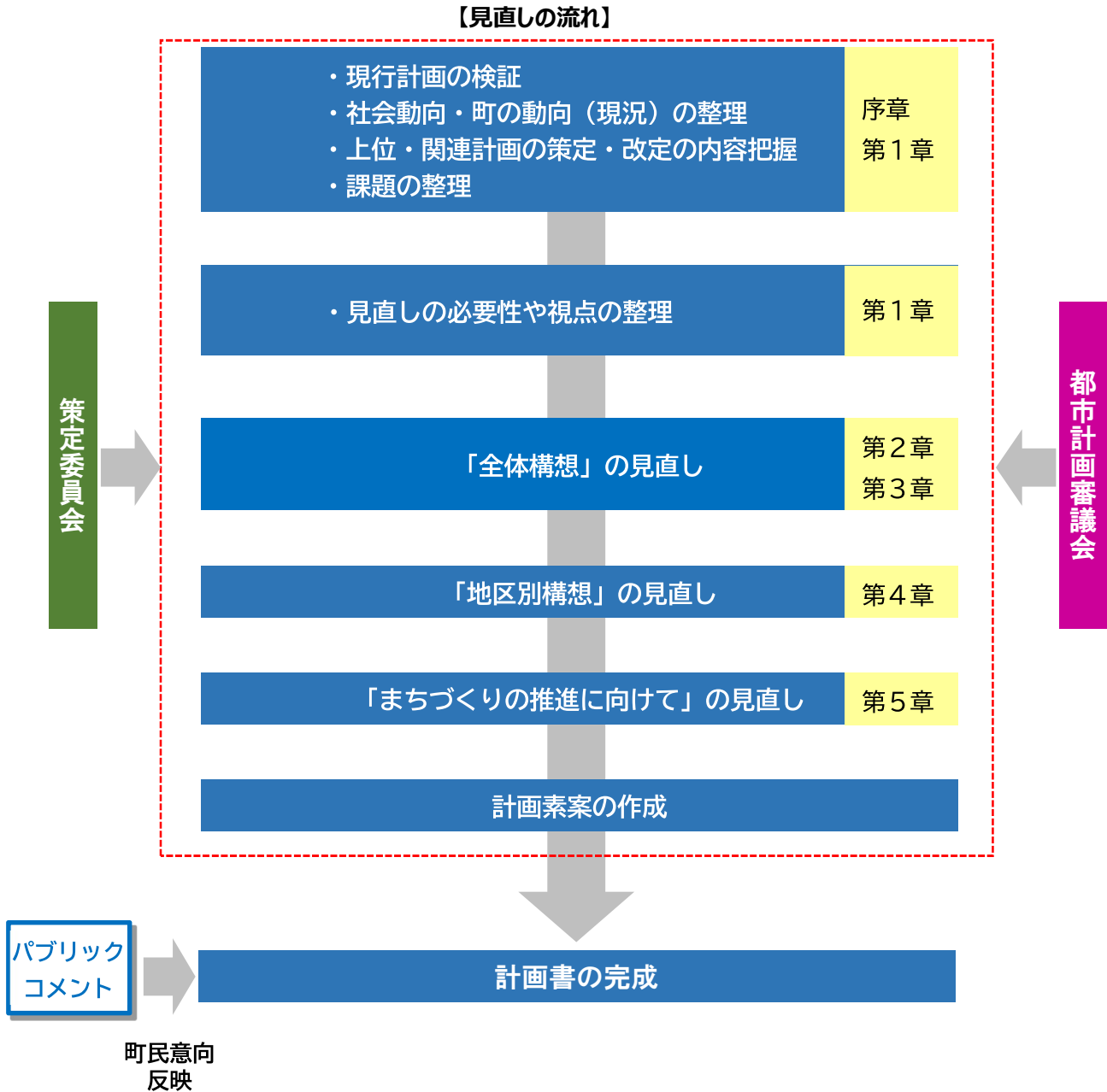
こうした背景を踏まえ、時代背景に即した持続可能なまちづくりを進めるため、小川町第6次総合振興計画等との整合を図りながら、小川町都市計画マスタープランの中間見直しを行います。

【都市計画マスタープランの位置づけ】



2 見直しの流れ

都市計画マスタープラン見直しにおける検討フローは以下の通りです。



3 見直しの視点の整理

本計画の中間見直しを行うにあたっては、「まちづくりの潮流」、「上位計画」、「本町の現況特性」や「関係課への現行計画の検証」等から本町のまちづくりの変化や動向を捉え、新たに見直すべき視点を分野別にまとめます。

1. まちづくりの潮流

- ①人口減少に対応したコンパクトなまちづくり
- ②災害に強い安全・安心なまちづくり
- ③環境配慮型のまちづくりへの転換
- ④地域の魅力を高めたまちづくり
- ⑤既存ストックの活用によるライフスタイルの変化に対応したまちづくり
- ⑥デジタル技術等を活用したまちづくり

2. 上位計画

- ①小川町第6次総合振興計画
- ②小川都市計画（小川町）都市計画区域の整備、開発及び保全の方針 等

3. 本町の現況特性

以下9つの項目で分析・整理

- | | |
|--------------|-------------|
| ①人口 | ⑥都市施設 |
| ②土地利用・都市機能分布 | ⑦市街地開発事業 |
| ③区域区分・地域地区 | ⑧自然環境、景観、観光 |
| ④道路 | ⑨都市防災 |
| ⑤公共交通 | |

4. 関係課への現行計画の検証

関係課へ意見照会を行い、現行計画の施策の検証を実施



見直しの視点

(見直しの視点一覧)

分野	見直しの視点
土地利用	居住や都市機能の集約化を図り、コンパクト化を実現
	今後の人口動態に見合った都市基盤整備の実施
	まちの持続的な発展に向けた産業の集積
	個性ある発展に向けた道の駅おがわまちなどの地域資源の活用
	空き家の把握と解消に向けた事業の展開
道路・交通	長期未整備道路の計画の検証と見直しの実施
	地域資源の活用に向けた回遊性の高い道路の整備
	公共交通ネットワークの維持など、交通手段の確保
都市施設	公園の適正な維持管理と利用者ニーズを踏まえた既存公園の更新
	下水道事業の経営の安定化や維持管理、事業への理解促進
	人口規模に応じた公共施設の再編
自然環境・景観	脱炭素化に向けた取組の推進
	良好な景観の保全と活用
都市防災	自然災害に備えた防災・減災機能の向上
	老朽化したインフラの計画的な安全確保
	災害リスクを踏まえた安全な住宅地の形成